

# 災害対策マニュアル（運用編）

## 「救急搬送対応マニュアル付き」

### 指針

- ① 自助 自らの力ですぐに行動に移せる
- ② 共助 地域の力を借り、地域の方の助けになる
- ③ 公助 役所、消防、警察と連携をする

2023.2.1

医療法人フジタ

グループホーム「ポプラ」

小規模多機能型居宅介護施設「ふくじゅそう」

## 目次

### アクシデントの対応

転倒 外傷、打撲 1P～2P

熱傷 2P

呼吸苦 呼吸が苦しい、意識がない。呼吸停止 3P～4P

その他 気分不快、めまい、お腹が痛い、頭が痛い、てんかん 4P～5P

インスリン注射、酸素吸入 5P

### 災害時 停電の対応

水回り、空調、復旧せず 6P

### 災害 地震の対応

環境、傷病、浸水 7P

### 地震 アクシデント

トイレ 8P

### 災害時 火災の対応

火災 8P

傷病、環境、救急通報 9P

### 車両でアクシデント

事故、送迎中の災害 10P

### 災害時 キッチンでアクシデント

傷病、故障 11P

故障時の対応 12P

### 災害時 事務所でアクシデント

備品 12P

### 災害時 風呂場でアクシデント

環境、傷病 13P

### 外部から避難者対応

環境、傷病、浸水 14P

1. 外傷（切り傷・擦り傷）



- ① 出血している（バイタル測定）
- 少量 → 水で洗い圧迫止血してテープ固定  
…薬箱（テープ軟膏）
  - 多量 → 部位を確認してタオルかパッドで圧迫止血（直接圧迫止血法）  
…薬箱（ガーゼ、パッド）
  - 止血できない場合、心臓に近い動脈を圧迫止血（間接圧迫止血法）  
…薬箱（タオル、パッド）
- ② 鼻血が出た（バイタル測定）
- 少量 → 鼻の付け根を圧迫（3～5分）  
鼻血の出る側を下に寝かせる  
…薬箱（タオル、パッド）
  - 多量 → 顔を横にして、喉に血液が入らないように誤嚥しないようにする  
…薬箱（タオル、パッド）

転倒

2. 打撲（頭以外）



- ① 少々痛い
- 部位確認 動き確認（関節可動域） 腫れ確認 → 湿布・冷罨法 → …冷蔵庫内に保冷剤  
インドメタシン軟膏
- ② すごく痛い（激痛）（バイタル測定）
- 自分で動かすことができる → なるべく安静にして  
少しずついつもの動作を試みる → …冷湿布、痛み止め軟膏、薬箱
  - 自分で動かすことができない（骨折の可能性あり） → 応援を呼び介助する  
安全な場所に移動  
部位を確認後に内出血や腫れを確認  
シーツを利用して腕をつる  
足の場合、椅子に座らせる → 車いすで移動、二人介助
  - 痛みによるショック（冷汗、過呼吸、意識レベル低下） → 応援を呼び水平な場所に移動して足側高位にする（ショック体位） → 骨折の可能性大  
◎救急対応  
119番通報

3

打撲(頭を打っている)



① 打撲だけの場合 (バイタル測定)

2

部位を確認  
本人に気分不快や痛みを確認

安静にして  
様子観察

② 打撲して外傷がある・裂傷、出血が多い (バイタル測定)

部位を確認し裂傷部位の髪の毛をカットして、  
清潔なパッドで押さえる  
本人に気分不快や痛みを確認

場合によっては外科  
で縫合  
安静にして様子観察

③ 嘔吐やけいれんの症状がある (バイタル測定)

嘔吐が治ったら衣服を緩め顔を横に向ける  
けいれんの場合、横向きで寝かせ窒息しないように  
(居室は暗くする)

救急対応  
119番通報  
医師に連絡

表面の皮膚の火傷 (湯がかかる、油が飛んだ)

① 赤みがあり、  
ヒリヒリする

服の上から冷やす  
(20~30分)

…薬箱ワセリン  
軟膏

真皮の火傷

② 痛みを伴い水疱が  
できる  
強い痛みがある

水疱を破らないように冷  
やす (30分~1時間)

救急対応  
119番通報

③ 表皮は白く、  
神経まで焼けて  
痛みは感じない

まずは冷やす  
清潔なパッドやガーゼで  
処置  
水分補給

救急対応  
119番通報

皮下組織までの火傷 (広範囲に火傷) (深くまで火傷)

④ 熱傷性ショックで  
意識レベル低下

水分補給、  
電解質補給、  
体を温める

救急対応  
119番通報

4 火傷をした



5・呼吸が苦しい

呼吸が苦しくてヒューヒューゼイゼイと喘鳴がある (バイタル測定) 3

① チアノーゼはない

▶ 声掛けをして落ち着いてもらう  
半坐位、起坐位で大きく深呼吸

▶ 発作なら内服  
様子観察

チアノーゼがある (バイタル測定)

② 咽頭に何か詰まっている

▶ 口を開けて確認  
背中をたたき みぞおちを押す  
取り出す (ハイムリック法)

▶ 様子観察  
取り出せない場合  
救急対応

③ 咽頭には詰まりはない

▶ 声掛け 深呼吸 下顎挙上

▶ 酸素を取り込む  
あればアンビュー

発熱 (バイタル測定)

④ 高熱が出た

▶ 38°C以上で悪寒がある  
悪寒が治まり首、脇、鼠径冷やす

▶ カロナール内服 (医師の指示)

⑤ 37°C台の微熱

▶ 頭部クーリングを定期的に交換

▶ カロナール内服 (医師の指示)

(バイタル測定)

5・意識がない (様子が変)

⑥ 反応あり

▶ 衣服を緩め、気分不快の有無、  
深呼吸をうながす

▶ 酸素を取り込む  
あればアンビュー

⑦ 反応なし

▶ 反応無ければ、すぐに上向きで  
寝かせ、気道確保、応援を呼ぶ  
(シートをフラットにして下顎  
挙上)

▶ 救急対応  
119番通報

5. 呼吸していない

⑧ (バイタル測定) 声掛けに反応しない 心音なし さっきまで呼吸していた 4

AEDを使用、心臓マッサージ行う  
救急車を呼び、先ほどまで呼吸していた事を伝える  
(AEDで呼吸が戻っても救急車を呼ぶ)

5. 呼吸停止 (ターミナル期)

⑨ 徐々に呼吸不全 バイタルが測れない 心音なし

家族、管理者に連絡する  
管理者は医師に連絡して死亡確認をしてもらう  
身体を清拭して、きれいな着物を着せる

6. 気分不快

① ムカムカするが吐けない (バイタル測定)

衣服を緩め横になる  
すんなり吐ける姿勢を維持  
前後の食事を確認

…ガーグルベイスン  
頭部ギャジアップ

② 嘔吐した (バイタル測定)

吐物を誤嚥しない姿勢保持  
感染対応で処理する

水分補給  
ノロ対応

7. くらくらする (めまい)

① 短時間 (バイタル測定)

目を閉じ、安静を維持  
嘔気はない

熱中症を疑う  
水分、電解質補給

ウォーターメイト飲む

② 長時間 (バイタル測定)

横になり2~3時間休む  
嘔気がある

脳虚血、梗塞疑う  
様子観察

8. お腹が痛い

① きりきりする 胃痛 気分悪い (バイタル測定)

白湯を飲んで様子みる  
ギャジアップして横になる  
絶食か粥、みそ汁

常備胃腸薬  
内服

② 下痢がある (バイタル測定)

下痢が続いているか確認  
感染対応で処理する

常備胃腸薬  
内服

水分補給  
ノロ対応

9 頭が痛い

① 偏頭痛 (バイタル測定)

5

目を閉じ、安静を維持  
熱があれば冷やす

常備頭痛薬  
内服

② 鈍痛 (バイタル測定)

嘔気があり治まらない  
意識レベル低下した

脳出血や硬膜下血腫の  
可能性  
フラットに寝かせ気道確  
保 (意識ない場合)

救急対応  
119番通報

10

てんかん発作

バイタル測定

① 発作時間1~2分  
10~20分で  
意識回復

安全な場所に移動  
横にして危険物を除き打撲  
しないように気をつける  
衣服を緩め、呼吸しやす  
ようにする

発作後休む  
(脳を休ま  
せる)

② 意識が戻らない

てんかん発作時間を測る

救急対応  
119番通報

医療行為を要する利用者様対応

11

災害で施設か  
られない

① 低血糖症状に注意

生あくび、冷汗、倦怠感、意識消失

ブドウ糖、  
シュガーを常備

…薬箱 (ブドウ  
糖、予備インス  
リン)

② 高血糖症状に注意

喉の渇き、多尿、頻尿、脱水、倦怠感  
インスリン注射セット、予備の確保

脱水ならない  
ように注意

インスリン  
薬を2か所に  
保管

12

停電が長引く

① 酸素ボンベ予備がある場合

涼しい場所に保管

火気に注意

② 酸素ボンベ予備がない場合

安静にして酸素消費量を上げない  
予備のボンベを確保する 主治医やボンベ会社に救急依頼

水回り

水道

温水が出ない

身体を拭き、風呂場から出る  
身体は冷やさない

低体温症に注意

機械浴

機械浴がストップ

応援を呼ぶ  
水を抜き、タオルでくるんで機械浴から出る

低体温症に注意

…リネン庫の毛布使用

トイレ

トイレの水が出ない

便器にビニール袋を被せ、排泄をする  
排泄後は新聞紙を丸めて吸わせる

…黒ビニール45ℓ  
古新聞紙

空調

エアコン

エアコンが止まる

窓を開けかぜの通りを確保  
氷や保冷剤で太い血管冷やす  
水分、塩分補給

熱中症に注意  
脱水状態に注意

冬の場合、重ね着したり、保温シートを活用

低体温症に注意

…リネン庫の毛布使用

玄関

玄関が開かない

手動に切り替える 職員用入口から出入りする  
開かなければ、バールで玄関ガラスを割る

…玄関右上に手動用スイッチあり  
バールは玄関に保管

復旧せず

停電復旧しない

非常用発電機3台  
ポータブル発電機1台作動

…5～6時間作動

居室エアコン6台  
IH調理器3台  
ポータブルは直結して稼働

…発電機位置確認  
LPガスボンベ確認 (別紙参照)



## 環境

### 揺れている

安全な場所（フロア）に移動、キッチンの電源を切る  
（窓からは離れる、物が落ちてこない場所）

入浴中なら、すぐに服を着て安全な場所に移動  
（窓からは離れる、物が落ちてこない場所）

…声で誘導の案内をする  
応援を呼ぶ

### ガラス片や破片で足を切った

水で洗い傷を確認、布で止血、靴や靴下を履く  
火元から離れた場所に移動

➡ 1 - ①へ

…薬箱（タオル、パッド）

### 扉が開かない 利用者が閉じ込められた

戸をたたき助けに来ていることを知らせる  
戸が開かなければ壊す

…ボールやペンチ使用  
（玄関棚）

### 上から物が落ちてきた

頭に当たった、体に当たった  
痛みの状態と傷の状態を確認する

➡ 1, 2, 3へ

…声で応援を呼ぶ  
薬箱（湿布）

### 足を滑らせて 起き上がれない

応援を呼んで車いすに座る  
痛みの状態と可動域を確認する

冷湿布貼付

…声で応援を呼ぶ  
薬箱（湿布）

### 足を滑らせて 腫れてきた

動かせる

タオルで冷やす  
ペットボトルの水で冷やす

骨折の可能性

➡ 3 - ①.②.③へ

動かせない

応援を呼ぶ  
シートを利用する（腕や手をつる）  
椅子に座らせる

骨折の可能性

➡ 2 - ①.②へ

## 浸水

### 津波で床上浸水した

歩ける

2階に移動（高い場所）  
垂直移動

土嚢を利用して  
玄関に置く

…土嚢保管  
場所

歩けない

できるだけ高い場所に移動  
人を呼び、助けてもらう

トイレ

## トイレ使用中、揺れだした

速やかに、用を足し、扉を開けておく

…応援を呼ぶ

## トイレペーパーが詰まった、水が流れない

トイレスッポン使用する、使用禁止にする

…トイレスッポン

## (トイレペーパー以外の紙を流した) トイレが流れない

すぐにトイレ使用禁止して管理者に連絡  
流さず、便器にビニール袋を被せて使用

管理者一業者連絡

# 災害時 火災の対応

火災

## 煙で視界が遮られた

姿勢を低くして視界を確保する  
煙を吸わないように、ハンカチなどで口や鼻を覆う  
風呂の窓やドアを開放する

一酸化炭素  
中毒に注意

火事  
119番通報

## 火災発見

小火を発見

消火器で消火する  
利用者様は火から遠ざけるように  
避難

火が近づいてきた

利用者様を安全な場所に誘導する  
(避難)  
延焼の程度により屋外に避難

避難後**防火扉**を閉める  
感知器によりスプリンク  
ラー作動

### 消火器 位置

- ① 玄関入って右
- ② ふくじゅそう 2号室前
- ③ ポプラ1階 正面トイレ横
- ④ ポプラ2階 正面トイレ横
- ⑤ 2階多目的ホール向い

### 防火扉 位置

- ① 1階職員トイレ近く
- ② 2階職員トイレ近く

## 傷病

### 座り込んで立てない

応援を呼び、車いすに移乗（口を布で覆い）  
火元から離す

➡ 5 - ①.⑥へ

利用者様を安全な場所に誘導する（避難）  
延焼の程度により屋外に避難

## 環境

### エレベーターが止まった 利用中に停電

中から叫ぶ  
応援を呼ぶ  
物で扉をたたく  
音を聞いた職員が三菱エレベーターに通報

パニック  
に注意

三菱エレベーター  
機番号8618073-001

電話番号 0587-22-1194

### 冷蔵庫が冷えない

製氷機の氷を冷蔵庫に入れて、冷やす

冷蔵、冷凍食品を安全な場所に移す

食中毒に  
注意

製氷機（2階物品庫内）  
氷を確保

## 救急通報

### 火災通報

#### 119番通報

「火事ですか 救急車ですか」と聞かれる  
『火事です』と伝え、  
施設名、住所、火元を報告

### 救急通報

#### 119番通報

救急車が必要な場合は『救急です』と言う  
まず施設名、住所、利用者名前、生年月日、  
年齢と状況を報告（報告者の名前も伝える）

◎施設住所名称：

あま市七宝町伊福河原  
136

グループホーム  
「ポプラ」  
052-462-1772

小規模多機能型居宅介  
護施設  
「ふくじゅそう」  
052-462-1771

## 事故

### 事故



#### 車をぶつけた（利用者様乗車中）

パニック  
に注意

すぐに車を路肩に寄せて、警察を呼ぶ  
応援を頼み、利用者様にケガがなければ応援者が家まで  
お連れする

#### 人身事故を起こした

#### 対物事故を起こした

応援者は職場に到着したら管理者に連絡



◎110番通報

◎施設電話

052 - 462 -  
1771  
(1772)

### 意識がなくなる (様子が変)

#### 車を安全な場所に移動

声をかけてみる 身体をゆすってみる 衣服を緩める

#### 反応あり

気分不快の有無、  
深呼吸をうながす → 5 - ⑥へ

酸素を取り  
込む  
あればアン  
ビュー

#### 反応なし

すぐにシートを倒し気道確保  
応援を呼ぶ  
シートをフラットにして下顎挙上  
→ 5 - ⑦へ

◎救急対応  
119番通報

## 送迎中の災害

#### 訪問先で電話が繋がらない 携帯が故障した

訪問先の電話を借りる  
訪問先で待機する 近所の人に情報を聞く

パニック  
に注意

近くのコンビニに移動する  
情報を収集する パニックに注意

施設電話  
052 - 462 - 1771  
(1772)

## 傷病

### 指を切る

#### 指から出血

ペーパーで止血、直接圧迫止血法  
止血できなければ、さらに布を重ねて止血  
包帯で圧迫



1 - ①.②へ

### 火傷をした

#### 表面の皮膚の火傷（湯がかかる、油が飛んだ）

赤みがあり、  
ヒリヒリする

服の上から冷やす  
（20～30分）

…薬箱ワセリン  
軟膏

#### 真皮の火傷

痛みを伴い水疱が  
できる  
強い痛みがある

水疱を破らないように冷やす  
（30分～1時間）

救急対応  
119番通報

#### 皮下組織までの火傷（広範囲に火傷）（深くまで火傷）

表皮は白く、  
神経まで焼けて  
痛みは感じない

まずは冷やす  
清潔なパッドやガーゼで処置  
水分補給

救急対応  
119番通報

熱傷性ショックで  
意識レベル低下

水分補給、  
電解質補給、  
体を温める

救急対応  
119番通報

## 故障

### IH

#### IHプレートが故障

カセットコンロを使用

…キッチンテー  
ブルの下に保存

故障時の対応

換気扇

換気扇が故障

窓を開ける 風の通り道を作る

扇風機を利用

水道

水が出ない

災害用の水を使用

…キッチンテーブルの下に保存

エアコン

停電でエアコンが止まる

窓を開け、風の通りを確保  
氷や保冷剤で太い血管冷やす  
水分、塩分補給

熱中症に注意  
脱水状態に注意

7-①へ

…保冷剤を使用  
タオルを冷やす

冬の場合、重ね着したり、保温シートを活用

低体温症に注意

災害時 事務所でアクシデント

備品

停電で、ナースコール表示が使えない

トイレ時には付き添う  
定期的な見守り  
フロアに集合（昼間）

鈴を使用してみる  
拡声器など使用

事務長 管理者  
に報告

地震でパソコンが落下した

パソコンは電源を切る  
安全な場所に移動  
パソコンを固定

普段から、大事な内容は会社の  
サーバーに入力  
個人用にバックアップを取る

事務長 管理者  
に報告

揺れている

安全な場所（フロア）に移動、キッチンの電源を切る  
（窓からは離れる、物が落ちてこない場所）

…声で誘導の案内をする  
応援を呼ぶ

入浴中なら、すぐに服を着て安全な場所に移動  
（窓からは離れる、物が落ちてこない場所）

機械浴がストップ

応援を呼ぶ  
水を抜き、タオルでくるんで機械浴から出る

低体温症に注意

…リネン庫の  
毛布使用

扉が開かない 利用者が閉じ込められた

戸をたたき助けに来ていることを知らせる  
戸が開かなければ壊す

…バールやペンチ使用  
（乾燥機横）

温水が出ない

身体を拭き、風呂場から出る  
身体は冷やさない

低体温症に注意

…リネン庫の  
毛布使用

ガラス片や破片で足を切った

水で洗い傷を確認、布で止血、靴や靴下を履く  
火元から離れた場所に移動

➡ 1 - ①へ

…薬箱（タオル、パッド）

上から物が落ちてきた

頭に当たった、体に当たった  
痛みの状態と傷の状態を確認する

➡ 1, 2, 3へ

…声で応援を呼ぶ  
薬箱（湿布）

足を滑らせて 起き上がれない

応援を呼んで車いすに座る  
痛みの状態と可動域を確認する

冷湿布貼付

…声で応援を呼ぶ  
薬箱（湿布）

足を滑らせて 腫れてきた

動かせる

タオルで冷やす  
ペットボトルの水で冷やす

骨折の可能性

➡ 3 - ①.②.③へ

動かせない

応援を呼ぶ  
シーツを利用する（腕や手をつる）  
椅子に座らせる

骨折の可能性

➡ 2 - ①.②へ

## 環境

### 認知症状がある方

興奮している状態

ねぎらいの言葉かけや、お茶をすすめて気分転換していただく。  
外傷の有無

…安全な場所へ誘導する（2階多目的ルーム）

落ち着いている状態

ねぎらいの言葉かけ、外傷の有無

### 玄関扉が開かない エレベーターがストップ

元電源の確認する 手動に切り替える  
戸が開かなければ壊す

応援を呼ぶ

…ボールやペンチ使用（玄関棚）

### ガラス片や破片で足を切った（傷病あり）

傷の状態を確認、応急処置をして  
安全な場所に移動

1 - ①へ

…薬箱（タオル、パッド）

### 上から物が落ちてきた

頭に当たった、体に当たった  
痛みの状態と傷の状態を確認する

1, 2, 3へ

…声で応援を呼ぶ  
薬箱（湿布）

### 足を滑らせて 起き上がれない

応援を呼んで車いすに座る  
痛みの状態と可動域を確認する

冷湿布貼付

…声で応援を呼ぶ  
薬箱（湿布）

### 足を滑らせて 腫れてきた

動かせる

タオルで冷やす  
ペットボトルの水で冷やす

骨折の可能性

3 - ①.②.③へ

動かせない

応援を呼ぶ  
シートを利用する（腕や手をつる）  
椅子に座らせる

骨折の可能性

2 - ①.②へ

## 傷病

### 津波で床上浸水した

歩ける

2階に移動（高い場所）  
垂直移動

歩けない

できるだけ高い場所に移動  
人を呼び、助けてもらう

土嚢を利用して  
玄関に置く

…土嚢保管場所

## 浸水



# 救急搬送対応マニュアル

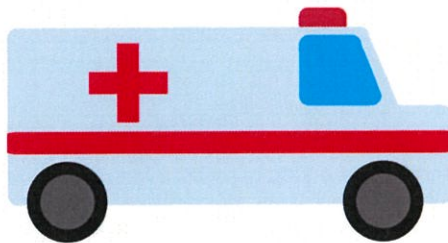
2022 年度

グループホーム「ポプラ」

小規模多機能 「ふくじゅそう」

## <目次>

1. 救急搬送要請手順
2. 119番通報の仕方
3. 救急車到着までに行う事
4. 救急車到着してから行う事
5. 救急搬送後に行う事
6. 救急搬送要請の基準
7. その他



## 1. 救急搬送要請手順

### ◆平日（NS 在勤）の連絡体制

**看護師** →（嘱託医外来時間内）→ 救急 → 家族（病院へ直接行く）

※事務長・管理者・主任には搬送前、看護師から連絡を入れます。

### ◆土日・夜間（NS 不在勤）の連絡体制

**介護士** → 看護師 →（嘱託医外来時間内）→ 救急 → 家族（病院へ直接行く）

※呼吸停止・一刻を争う場合は **介護士の判断** → 救急 → 家族 → 看護師・管理者・事務長・主任へ連絡してください。

※夜間スタッフ1人態勢の時は事務長・管理者・主任・看護師には救急搬送後に速やかに連絡をして下さい。

## 2. 119番通報の仕方

### 【119番通報】

- ①（消防庁） 「火事ですか、救急ですか」  
（通報者） 「救急です」
- ②（消防庁） 「そこは何（区市）何町ですか」  
（通報者） 「あま市七宝町伊福河原136番地 小規模多機能型ふくじゅそう・グループホーム ポプラです」
- ③（消防庁） 「どうしましたか」  
（通報者） 「〇歳（性別）の入居者は意識ありません」等

※上記通報後、現場に向かう救急隊から、より詳細な情報聴取・応急手当指導のための電話が入るので、対応可能な体制をとっておく。

## 3. 救急車到着までに行う事

**優先** 意識消失・容態が安定しない場合は呼吸ができる体勢をとらせ付き添う  
AED使用した場合は装着したまま救命行為を続ける → 救急隊に引き継ぐ

- ① 緊急連絡シート用意（個人カルテ一番前にある） → 救急隊に渡す
- ② 薬情 or お薬手帳用意 → 救急隊・搬送先 Dr に渡す

※時間に余裕がある場合は、上着・オムツ数枚・数日分の内服薬を用意して同乗スタッフが搬送先に持っていく。

## 4. 救急車到着してから行う事

- ① 搬送者まで誘導する
- ② 救急隊へ状態伝える
- ③ 搬送先が決定してから家族にTEL⇒病院へ直行してもらう（保険証持参）

※救急隊にも家族は病院へ直行すると伝える

※看護師不在勤・夜間は搬送者一人で救急車に乗ってもらう⇒後ほど看護師・管理者が搬送先へ向かうこともある

## 5. 救急搬送後に行う事

- ・事務長、管理者、主任、看護師に連絡がとれているかを再確認する
- ・看護記録を記入する

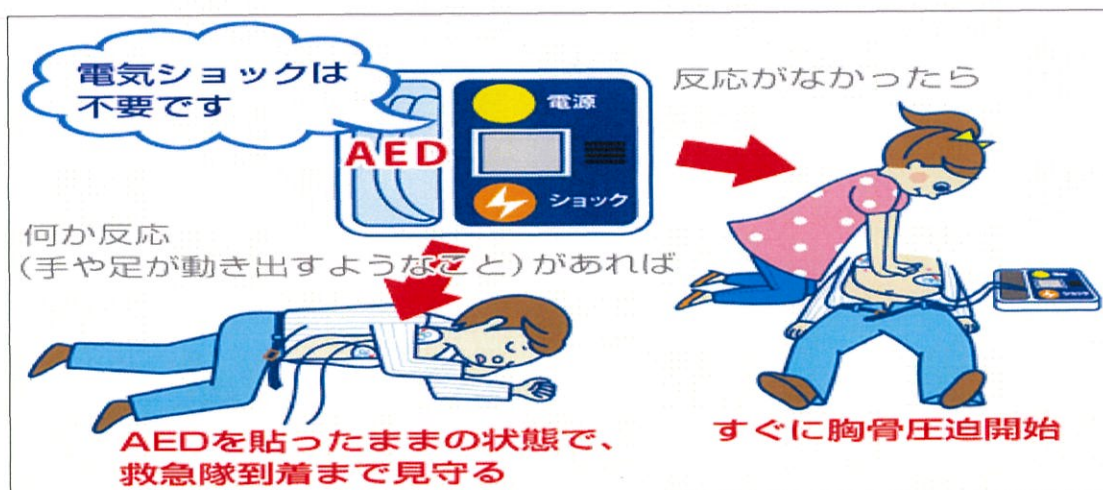
## 6. 救急搬送要請の基準

### ◆要請の基準

- ① 意識消失痙攣持続するとき
- ② ショック状態のとき
- ③ 激痛持続するとき
- ④ 多量の出血を伴うとき
- ⑤ 骨の変形がみられるとき
- ⑥ 大きな開放傷をもつとき
- ⑦ 広範囲の火傷のとき
- ⑧ アナフィラキシーショックのとき

### ◆要請の基準による対応の仕方

- ① 意識消失・痙攣持続するとき⇒AED使用（IF 玄関設置）⇒安楽な体位をとり呼吸確保
  - ・呼吸停止の時
  - ・痙攣が10分以上続き意識がハッキリしない時



- ② ショック状態のとき（5徴候）⇒安楽な体位をとり呼吸確保
- ・顔面蒼白
  - ・発汗、冷や汗
  - ・肉体的、精神的虚脱
  - ・脈拍微弱40回／分以下
  - ・呼吸不全
- ③ 激痛持続するとき⇒安楽な体位をとり呼吸確保
- ・突然の激しい頭痛が続く時
  - ・突然の激しい腹痛が続く時
  - ・胸が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2～3分続き状態が悪化する時
  - ・転倒した後、我慢できないような強い痛みが続く
- ④ 多量の出血を伴うとき⇒患部を圧迫止血する
- ・圧迫止血しても止まらず状態が悪化する時
- ⑤ 骨の変形がみられるとき⇒安楽な体位をとり副木（添え木）をする
- ・明らかに骨折が疑われる時
  - ・患部が痛くて動かさず状態が悪化する時
- ⑥ 大きな開放傷をもつとき⇒患部を圧迫止血して清潔を保つ
- ・傷が大きくて深く止血しても止まらず縫合が必要な時
- ⑦ 広範囲の火傷のとき⇒患部を水道水で10～30分ほど当てる（服の上から冷やす）
- ・片腕全体や片足全体など範囲が広い時
  - ・ショック状態の時（5徴候）
- ⑧ アナフィラキシーショックのとき⇒安楽な体位をとり呼吸確保
- ◆アナフィラキシーショックとは、アレルゲン等の侵入により、複数臓器や全身性にアレルギー症状が惹起され、生命に危機を与え得る過敏反応をいう。（90%程度に皮膚症状がみられる）
- ・皮膚や粘膜にじんましん、かゆみが出現し呼吸困難、意識レベルの低下がある時

## 7. その他

- ・看取りの方は基本救急搬送はしないが、状態によっては搬送対象となるため、嘱託医の指示に従い家族同意のもと、搬送となる場合もあります
- ・災害マニュアルにも日頃から目を通し、緊急時に対応出来るようにしておくことが大事です

# 緊急時フローチャート

